

商工業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①市道除雪	住宅団地を造成する際、団地内の道路は市に帰属し、市道に認定される場合があるが、その際、市からはその道路について、「除雪しない」と言われる。このような道路は大抵除雪されている市道と隣接しており、一緒に除雪いただけないか。	市道の除雪は、市内の土木業者等のご協力をいただき行っていますが、限られた時間で、限られた台数の除雪機では市道全体の60数パーセントしか除雪できていないのが現状です。市では「地域ぐるみ除排雪活動補助金」として、限度額200万円の除雪機購入等に係る補助を用意しており、地域の方に除雪のご協力をお願いしているところですが、それ以外にも何か良い方法がないか検討します。
②街灯	新しい住宅団地には、小さな子どもが住んでいることが多く、安心・安全のためにも団地内に街灯を設置してほしい。また、照明器具への補助や維持管理・電気料の負担について市から支援いただけないか。	交通安全上必要な箇所の街灯の設置・維持管理は市で行っており、そのような箇所への新設をご希望の際は、町内会としてご要望願います。また、防犯灯としての役割が主である街灯の新設については、設置者である町内会への補助制度を市で用意しています。ただし、維持管理は地元町内会で行っていただいていることから、これらを組み合わせると何か良い方法が無いのか検討します。
③市道の維持管理	小規模な宅地造成地内の、市道に認定されない道路の補修・維持管理について、市で面倒を見てもらえないか。	市道の認定は、一定の基準に基づき行っています。ご提言の、基準に満たず市道に認定されていない道路の補修については、その時の状況に応じて対応しています。
④学区	滑川駅南から旧国道8号にかけて、北加積小学校区となる地区があるが、児童が寺家小学校にも通えるよう、小学校を選択制にできないか。	町内の活力維持のため、校区の線引きはしっかり行うことが重要と考えています。同じ校区内の隣同士の家で通う小学校が違っていると、近所づきあいができなくなり、過去にトラブルとなったケースがあることから、通う小学校の選択制度は予定していないことをご理解ください。
⑤市のPR	滑川市は東京と大阪からほぼ同じ距離に位置しており、世界にアピールできることから、キラリンを用いたPRも良いが、何か型破りなことを行ってほしい。	-
⑥沖田川放水路	沖田川放水路の完成で降雨時に沖田川の水かさが減ったが、7月の大雨時には下島地内で河川が氾濫しそうだった。放水路に水が落ちる部分に水門を設置してはどうか。	ご提言の件は県に確認しており、「水が落ちる部分の開口部を当初の予定と比べ倍にしたので流下能力は上がっているため、水門の設置は予定していない」とのことでした。しかし、上流部で大雨の際、危険水域に達するため、引き続き、国や県に対し河川の改修等について要望していきます。
⑦用水路	田中新町地内にあるやまざき歯科の前の用水路が、降雨時に溢れることがあるが原因は。また、その対策として、中滑川駅前に調整池を用意したら良いのでは。	ご提言の箇所については、7月の大雨時にも道路上まで水が溢れていたのを確認しています。側溝内に堰板があるのが原因の1つと考えられ、その撤去も含め対策を検討します。
⑧用途地域	市の用途地域は、旧国道8号から国道8号の間は無指定となっているが、実際は住居が多く立地している。また、海岸線は人が減り続けているのに住居地域の指定のままとされており、現実と合っていない。	用途地域の指定については、現状に合うものにする時期が来ていると認識していますが、用途地域の変更は県との協議・同意が必要です。用途地域の拡大はハードルが高いですが、県とよく相談します。

商工業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨中滑川駅前	中滑川駅前では企業のテナントや官庁の誘致など、経済効果や働く場がある、市のブランド力が上がるような大きなプロジェクトを行ってほしい。	中滑川駅前については、民間の力をお借りしたいと思い、各所にお声掛けをしているところです。お話がまとまらないうちはその内容の公表を控えていますが、皆様のご意見もお聞きし、若い方の活力も期待しているところです。
⑩人材確保	企業立地も重要だが、喫緊の課題は人の確保である。求人倍率が高く、人が来ない。市の科学理数教育の考えは素晴らしいが、雇用の面で効果が表れるのは中・長期的なものである。市単独ではなく、広域的に人口増を図ってほしい。 また、企業団地内への保育所設置など、育休中の女性を社会に引き戻すための支援を行ってほしい。	保育料等第2子無料化の施策は、女性の社会復帰を促すことも期待し実施しているもので、女性には働く場で女子力を発揮していただきたいと考えています。 また、年配の方の人材確保についても需要が高まっていると認識しています。 働く人が足りないことは認識しており、市としても今後、支援をしたいと考えています。
⑪ほたるいか海上観光	ほたるいか海上観光の再開について、市の観光遊覧船と氷見の観光船の2隻体制で運航されることを期待している。	現在、市観光遊覧船の使用再開に向け努力しており、再開した際にはぜひご協力をお願いします。
⑫馬場島への道路	馬場島へのルートとして、養輪からの道路を整備すれば市の活性化に繋がるのでは。	劔岳の景観は貴重な観光資源であり、ご提言の道路についてはマラソンやウォーキングなどのイベントを開催すると面白いのではないかと考えています。上市町や県の力を借りながら、開発に取り組めるよう努力します。
⑬企業の発展	市内企業が発展するためには、市のどの地区をどのような用途で開発していくかの構想が必要と考える。	早月・上市川沿いは企業の立地が進み、その間の部分は宅地や田が広がるということ、3代前の市長時代から構想しています。また、今後の企業を含めた市の発展への構想については、企業の方の考えもお聞きしながら進めたいと考えています。
⑭工業用水の確保	企業(工場)によっては、大量の工業用水が必要だが、その用水を確保するような取り組みを市で考えているか。	劔岳から続く自然の浄化槽により、豊富で清浄な早月川の水を飲料・農業用水・工業用水等として享受してきました。しかし、陸砂利採取業者による乱掘や、涵養能力のない土砂の埋め戻し等による地下水脈の分断など、市の財産である地下水の保全が阻害され、市の発展の妨げとなっています。これ以上陸砂利採取をさせないよう、子々孫々までかけがえのない水環境を残すため、関係者と協力し、対応していきます。
⑮外国人雇用者の住居	自社で外国人の従業員がいるが、市営住宅でそういった人を受け入れていただけるとありがたい。部屋の間取りの改造も含めて検討してほしい。	既に、市の定住促進住宅において、外国人の方の社員寮として法人契約をいただいています。間取りについては様々なものをご用意しており、生活上のルールを多言語で記載したパンフレットもご用意していますので、ぜひご検討ください。
⑯鉄道駅	地鉄西滑川駅にあいの風とやま鉄道が乗り入れできれば利便性が向上するのでは。	「地鉄とあいの風は、直流と交流の違いで相互乗り入れができない」など、あいの風とやま鉄道からできない理由を聞いていますが、実現に向けて、ぜひお力添えをいただけたらと思います。

商工業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑰事業あっせん資金	各市町村で事業資金のあっせんを行っているが、滑川市の保証料補給率は3/5であり他市より低いのでは。また、補給金の申請後、決定の通知まで時間が掛かる場合があり、できるだけ早く処理してほしい。	市のあっせん保証料補給金の他市町村と比較し、特に補給率が低いということはありません。引き続き3/5の保証割合で実施していきたいと考えています。また、補給金の支給決定通知は、早ければ当日か翌日にお渡ししていますが、市に届いたものについては、今後もできるだけ早く対応します。
⑱市への報告書	市内の5つの金融機関は、毎月市へ報告書を提出しているが、事務量の増加の原因の1つとなっているので、たとえば3カ月に1度の提出にするなど、改善できないか。	毎月、富山県信用保証協会からの報告書と金額の確認を行っており、毎月の提出にご理解願います。
⑲住民票座標データ	住民票に座標データを付与し、一定のエリアに人が何人いるか、うち子どもが何人、お年寄りが何人いるか等を分かるようにすれば便利ではないか。	市では、現在ご提言のようなシステムの導入予定はありませんが、各町内会ごとの人口や世帯数等についてはご提供しているところです。また、国勢調査では一定のエリアごとの集計をしており、総務省ホームページ等で公表されています。
⑳ビュースポット	市から見える立山、剱岳、海に落ちる夕日などのビュースポットを市民に推薦してもらい、様々な人の意見も取り入たうえでPRしてはどうか。	市内には、市民交流プラザ展望台や海浜公園など、海や山等が見渡せる素敵な場所があるので、整理したうえでPRしていきたいと考えています。